

HU-style

02 | 2005
Jul.

 広島大学

特集

ENJOY! バケーション!
とおき旅行のススメ

あの人に会いたい

タレント

アンガールズ



INTERVIEW with Ungirls

あの人に会いたい

タレント
アンガールズ

結局、一番やりたいことが、お笑いだった。



PROFILE

(右) 田中卓志
1976年2月8日生まれ、広島県上下町(現府中市)出身
広島大学工学部卒業

(左) 山根良顕
1976年5月27日生まれ、広島県広島市出身
広島修道大学法学部卒業

大学時代に情報企画サークル「ボルケーノ」で出会う
2002年1月デビュー
『爆笑問題のバク天!』(TBS)、『エンタの神様!』(NTV)
などに出演中

—学生時代お二人が同じサークルだったことは有名ですが、
アルバイトも広島市民球場で一緒だったとか?

田中 俺はジュース販売で山根はゲート担当。サークル活動が忙しか
ったから単発のバイトが良かったし、カーブ好きだからね。でも、高校
野球の甲子園予選を担当することが多かったから、プロ野球はたま
にしか見なかったなあ。

山根 東京でもカーブVS巨人戦はテレビ中継があるから、今でもよく
見てるよ。将来は球団経営もしてみたいね(笑)。



田中 山根が球団買い取って、广大生が全員カーブファンになれば
いいんだ。みんな広島にいるんだから、もっと応援に行くべきです!

—学生の頃はどんなところで遊んでいましたか?

田中 広島市内のパルコとか。みんなと一緒に。だって大学生だもん。
山根 恋もしたし、友達と映画やキャンプに行ったりね。ほんと、みん
なと同じよ。普通の学生だった。

—お笑いの道を選んだきっかけは?

山根 きっかけは東野幸治さん。テレビでいつも見てて、あんな風にな
りたいなと思ってた。

田中 そうだね。二人ともお笑いをやるって決める前から東野さんに
憧れてた。俺の場合、学生時代は建築技士を目指してて、就職
活動もしたよ。大学院にも合格していたから、研究室に残るという
道もあった。考えが変わったのは本当に最後、4年生の2月頃。ギリ
ギリまで悩んだけど、その時点で一番やりたいことがお笑いだったの
ね。そう決心してから動きは早かった。すぐに上京したよ。親には
大学院に行くって嘘ついて。2年ぐらいはばれなかったなあ(笑)。

—もし田中さんが大学院に進学していたら山根さんは?

山根 同じサークル仲間と一緒に上京した友達が他にもいたし、もし
かしたら別のコンビを組んでいたかも。二人でアンガールズになった
のは東野さんのおかげかな。

田中 コンビが同じ感性を持っているということは、ネタを作る時にも
すごく大事なことからね。

—最近はテレビで見かけない日がないほど超売れっ子のお二人。
デビューしたての頃と何か変わったことはありますか?

田中 その質問いつも聞かれるんだけど、ほんとに何も変わってなくて

答えるのに困るぐらい。コンビニで雑誌やジュースを買うのにちゅうち
よしくなったことぐらいかな……。バイト生活が長かったから、小さな
額でもお金を使うことにはすごく慎重だった。

—有名人になって、モテるようになりましたか?

田中 全然モテない。

山根 まあ、モテるためにお笑いをやってるわけじゃないからね。

—芸能界の友達と遊ぶことはありますか? 誰と仲がいいですか?

田中 お笑いの人と都内をドライブすることが多いかな。変な話だけど、
その時にみんなでお互いを褒め合うの。なんだか自信がつくよ。

山根 僕もミュージシャンの人なんかと遊ぶと「お笑いの人ってすごい
よね」って言われることがあるんだけど「そんなことないですよ」って
言いながらも妙にテンションが上がるんだよね。

田中 みんなもテストや就職活動で疲れたら、友達同士で褒め合うと
いいよ。すごく元気になる。愚痴や悪口じゃなくて褒めるってことが
ポイント。マイナスな話題は気分が沈むし、雰囲気も悪くなるでしょ。

—コンビを組んで10年。お二人の関係は? オフは一緒にいますか?

山根 休みの日まで一緒にいるコンビなんていないでしょう。仲はいい
けど、いつも一緒じゃ、お互いに話題の幅も広がらないしね。

田中 俺たちの関係はどう言えいいんだろう。友達でもないし……。

山根 兄弟?



田中 そうだ。兄弟って家では一緒にいるけど、学校では一緒に遊ば
ない。家の外に出ると別行動だよ。二人にとって仕事場が家、オ
フの時間が家の外みたいな感じかな。

—最後に学生へのメッセージをお願いします。

田中 普通に就職したほうがいいかもよ。芸能人になれ!なんて絶対
に言えないし。

山根 モテたいなら公務員で(笑)。安定しているから最近女性に人
気があるみたいよ。

田中 そうなの? いや、やっぱりチャレン
ジするなら一般企業でしょ。就職してい
ない俺たちが言うのもおかしいけど……。
どちらにしても、一花咲かせるぞ!ぐらい
の熱い気持ちを持って頑張ってください。



取材を終えて

早朝取材だというのに嫌な顔一つせず真剣に話をし
てくれた田中さん。「聞きたいことがあれば何でも答
えるよ」と優しく言ってくれた山根さん。テレビでは「独
特」のキャラが売りのお二人ですが、実際は学生の僕
らにも気を使ってくれる「普通」のすてきな人でした。

取材・記事 / 工学部3年 森 裕之

多忙なスケジュールの間をぬっての取材にも関わらず、
私たちの質問に、面白く、時には真面目に答えてくだ
さったお二人の優しい人柄に感激。テレビでは分から
なかった一面を発見できました。「芸能界は楽しい」
という田中さんの一言がとても印象に残っています。

取材・記事 / 法学部3年 新本 恭子



ENJOY! バケーション! とっておき旅行のススメ

せっかく2カ月もある夏休み。いつもと違う“楽しいこと”してみたいですね。
カーンと照りつける太陽の下、大学生だからこそできる特別な旅をしてみませんか。
自分の手で作る旅には、出会いや驚きがたくさんあるはず。
あなたの夏旅行のスタイルは、癒し系、冒険系、自分探し系…?
思いもなかった発見があるかもしれませんよ。



part1. 再発見! 広島の魅力、美力、味力

何も遠くへ行くばかりが旅ではありません。たった1日でどんな旅ができるかやってみよう!
ということで、学生広報スタッフが2チームに分かれ、広島の良さを再発見すべくちょっと変わったオリジナルな旅を計画・決行。
今まで知らなかった魅力、美力、味力をいっぱい見つけてきました。広島で初めての夏を迎える1年生、必見ですよ!

有富チーム 路面電車で広島を食べ尽くす?!

5月22日①決行 MEMBER 有富大輔(生物生産学部4年)、末永紗央里(教育学部4年)、小泉祐子(法学部3年)

1 AM7:30 JR西条駅集合!!
7:53 JR西条駅発

AM9:00 JR宮島口駅着
フェリーで宮島へ

AM9:20 宮島着

2 宮島遊食ツアー開始!
厳島神社
海に浮かぶ大鳥居の朱色は10年に1度塗り替えられるとか。電宮城を再現したとの説もある神社は情緒たっぷり。

あなご飯
「芝居茶寮 水羽」に入店し、早速名物あなご飯を注文。若女将さんが「瀬戸内産のあなごは小ぶりですが身が締まっていておいしいよ」と教えてくれました。

もみじまんじゅう
広島土産の定番。実は宮島が発祥の地。しかしその種類の多さに驚愕! アーモンド味まであるなんて…。オススメは揚げもみじ。外はサクサク、中はモチモチ。

3 PM12:20 広電宮島口駅発
途中下車して「街」を満喫しながらのんびり市電の旅

PM2:30 広電縮景園前着
広島市内の穴場スポット訪問
縮景園
市内中心部に突然現れる縮景園は緑豊かなマイナスイオンの宝庫。亀や鯉のいる池があったりと、ここはまるで別世界。日本の「わびさび」を知ったかも?!

4 PM3:30 広電縮景園前発
PM4:00 広電猿橋町着

昭和初期から続く老舗の甘味処「甘党たむら」で休憩。店内はどこか懐かしい雰囲気。おばあちゃんの家に遊びに来たような感覚。人気メニューは甘さ控えめの蜜の中に寒天やあずき、氷の入ったクリームあんみつ。特に、素材にこだわった手作りのあずきは絶品。疲れた体には、やっぱり甘いものでしょ!

PM4:30 広電猿橋町発
PM4:40 広電比治山下着

比治山公園には現代美術館、まんが図書館などの文化施設が充実。少し遠回りして、長いエスカレーターで山登り。まんが図書館へ。開館時間まで無料でしっかり読書タイム。

6 PM6:40 広電比治山下発
PM6:50 広電猿橋町着

そろそろ夕飯の時間。「広島の新名物つけ麺を食べよう」と意気込んで向かった目的の店。到着してみると、なんと移動の張り紙が。しかも日曜日は定休日。諦めきれなかった3人は他の店をリサーチ。

PM8:00 つけ麺さんにやっと到着
必死に探して見つけたのが地蔵通りの「ばくだん屋」。念願叶ってやっと食べられたつけ麺は、サッパリしていておいしい! でも辛い! 私たちの選んだ辛さは2~4倍。過去には890倍に挑戦した人もいたとか。

PM9:00 JR広島駅発
PM9:28 JR西条駅着

それぞれの家路に
予定より1時間半オーバーで西条着。ホントお疲れ様でした。

旅を終えて
路面電車でこんなに多くの場所を訪ねることができるなんて正直予想外。1日でもしっかり広島を満喫できるんですね。そして、計画通りにいかないのが旅の鉄則。それがまた面白いんだと痛感しました。広島を再発見できた今回の旅。みなさんも夏旅を計画してみれば? よく知っているつもり土地でも、普段と違うメンバーと行く、1日乗車券を使うなど、少しアプローチを変えるだけで、驚くほど意外な側面が見えてくるはず。

旅の費用(一人あたり、単位:円)

JR(西条→宮島口、広島→西条)...	1,520
広電(1日乗車乗券)...	840
厳島神社	300
芝居茶寮 水羽(あなご飯など)...	1,100
もみじまんじゅう	210(平均)
縮景園	180
甘党たむら(クリームあんみつなど)...	500(平均)
ばくだんや(つけ麺)	900(平均)
合計	5,550

森尾チーム 呉線で巡る“西条→西条”出会いの旅

5月29日①決行 MEMBER 森尾洋一(総合科学部2年)、上岡紗野香(総合科学部4年)、田川裕祐(法学部2年)

1 AM7:30 JR西条駅集合!!
7:41 JR西条駅発

切符を買っていざ出発!!

AM8:41 JR忠海駅着
忠海は果たして「ただのうみ」なのか? 好奇心にいざなわれていざ、下車! 第一印象はやっぱり、ただのうみ。しかし...

AM8:50 忠海港発(フェリー)
フェリーに乗り遅れそうになる。「ハブニング」の予兆??

AM9:05 大久野島着

2 AM8:17 JR三原駅着
8:20 JR三原駅発(呉線に乗り換え)

AM8:41 JR忠海駅着
忠海は果たして「ただのうみ」なのか? 好奇心にいざなわれていざ、下車! 第一印象はやっぱり、ただのうみ。しかし...

AM8:50 忠海港発(フェリー)
フェリーに乗り遅れそうになる。「ハブニング」の予兆??

AM9:05 大久野島着

3 大久野島探検スタート!
船酔いの田川くんを連れて、かつての毒ガス工場の資料館や遺跡を見学。穏やかな島の雰囲気と日常の喧騒を忘れて1時間ほどのんびり過ごした後、国民休暇村にある温泉へ。昼間に入るお風呂は開放感たっぷりです。ホント気持ち良かったです。

ちょっと早めに帰りのフェリー乗り場に到着。と思っていたら、なんと乗り場が違う! 走って移動したものの目の前で船が出港。次の便までは1時間半…。でも、このハブニングを利用して、景色のいい場所でお弁当タイム! 大久野島をしっかりと満喫できました。

4 PM12:55 大久野島発(フェリー)
PM 1:07 忠海港着
1:35 JR忠海駅発

PM 1:48 JR竹原駅着
竹原町並み保存地区散策

駅前のレトロな町並みを見て歩いた後、「竹原まちなみ竹工房」へ。おばあさんに教わりながら竹細工を体験。

竹製の打楽器や笛の練習をしているグループ「竹夢楽団」を発見! ここでは独特の音色を奏でる竹楽器を私たちも実際に教えてもらえることに。地元の人とのすてきな出会いが多かった竹原。これぞ旅の醍醐味!!

5 PM4:00 JR竹原駅発
PM4:54 JR呉駅着

呉市の庶民派グルメめぐり
目的地は食べ歩き。まずは「巴屋」でアイスモナカに挑戦。屋台が開店し始める6時頃から夜の街へ繰り出し、1軒目の屋台ではイタリアン。2軒目ではおでんを食べました。呉にはおしゃれでおいしいお店がいっぱい。皆さんもお気に入りのお店を探してみれば?

PM7:34 JR呉駅発
PM8:42 JR海田市駅着(山陽本線に乗り換え)
PM9:07 JR西条駅着

それぞれの家路に
なんとか無事に西条へ到着。本当に楽しい旅だったけれど、アクシデント続きで疲れた&眠い。しかも、3人とも家まではチャリ(泣)。「次からは前夜しっかり寝よう!!」と反省しつつ解散。

旅を終えて
今回の旅は、呉線・山陽本線一周というめったに経験するチャンスのないもの。西条駅に帰ってきた時には妙な達成感がありました。立ち寄った駅では、初めて見る新鮮な景色。たくさんの人たちに出会い、その土地特有の文化、雰囲気に触れることができました。今まで知らなかった呉線沿いの魅力を大いに満喫できた1日になったと思います。皆さんもこの夏、身近な旅に出られてみてはいかがでしょうか。きっと新しい発見がありますよ。

旅の費用(一人あたり、単位:円)

JR(西条→西条/途中下車可)...	2,520
フェリー(忠海→大久野島)往復	420
大久野島毒ガス資料館	100
休暇村・日帰り入浴	400
竹細工(竹かんざし300円、風車300円)...	400(平均)
巴屋(アイスモナカ)	100
屋台での食事	1,200(平均)
合計	5,140



ボクHUくん。このページの案内役だよ。
みんなが体験したレアな旅。
ちょっぴり覗いてみよう!

チャリで日本縦断 編

梅田大五 文学部3年

旅行した場所 / 北海道・宗谷岬→沖縄・喜屋武岬まで
期 間 / 2004年7月31日～9月15日

「大学時代に何か一つ誇れる経験を」と決心した日本縦断の一人旅。前期テスト終了後すぐにフェリーで北海道へ。そこからチャリの旅が始まりました。基本的には野宿と自炊。台風にも何度も遭遇しました。足腰が痛くなるのは当たり前、それをかばうと腕や肩に負担がかかり、体中が痛い。何より孤独感とはまらないものでした。1日20回は「やめよう」と考えましたが、そのたびに「やり始めたことだから最後まで!」と思い返し、とうとう最終目的地の沖縄・喜屋武岬までたどり着くことができました。旅行中に出会った男性から言われた「終わった後、必ず宝になるからやり遂げてみよう」という言葉。旅から1年が過ぎた今、ようやくその意味が分かってきたような気がしています。



出発前にサイクリング部の先輩から頂いた旗。ずっと掲げて走っていました



あまりの美しさに心をわしづかみにされ、思わず撮った1枚。沖縄にて



旅行記はなんと原稿160枚! アー疲れた!!



「(北海道から)ここまで自分一人でもやりとげることができた」という安心感からひびきました。でも実は、ここは会社の私有地。自転車は走行禁止だったのでバスで行きました

宗谷岬にて、8月なのに気温は17℃と寒かった。この辺りでは有名な看板にローソク燭を眺めながら待つ必要があります

卒業旅行はリアル「桃鉄」編

原口智彰 他13名

大学院生物圏科学研究科博士課程前期1年 他
旅行した場所 / 大阪・京都・神戸など
期 間 / 2005年3月9日～11日 (桃鉄は11日に)

大学4年間で締めくくる卒業旅行で、最高にバカになれることは何だろう? 学部仲間たちと最後の思い出作りをしたい! そう考えていた時、期間限定で3日間新幹線乗り放題という切符を見つけました。「桃鉄やろうや!!」となり、即企画、実行。最初の2日間は切符をフル活用し大阪・京都で遊び、最終日はN Oプランでサイコロに運命を託すことに。世界遺産清水寺でサイコロを振り、まずは神戸で肉まんを。そこからゴール広島まで行けばいいものを、うまく止まれず小倉へ。ラーメンを食べただけで出発し、無事に広島着。滞在時間の4倍は駅が新幹線にいた不思議な旅。他の人の目には「何やってるんだか…」と映るかもしれませんが、自分たちにとっては最高の旅でした。これからの人生、この旅のように予想外の出来事ばかりでしょう。しかし僕たちは恐れない。これまでだって、仲間と一緒に本気でバカになって、やり遂げることができたのだから。



日本海の砂浜に並んだ14人の愉快な仲間たち。楽しいことも辛いこともいつも一緒にだった



股の間からこんにちは。天橋立(日本三景の一つ)が台無しだよ



ズズズズ
小倉といえばラーメンでしょ。やっぱり、トンコツ最高!



新幹線だからサイコロがいっぱい

みんなのプロフィールをおもしろおかしく紹介したバンプレット。宝物です。でも中身は濃すぎで誰にも見せられませ〜ん

東京ヒッチハイクの旅 編

Daniel Leussink 他1名 日本語・日本文化研修生

旅行した場所 / 西条⇄東京

期 間 / 2005年のゴールデンウィーク
往 路: 4月28日～29日
東京観光: 4月29日～5月5日
復 路: 5月5日～6日

GWは日本で一番魅力的な大都市で過ごしたい! でもお金はかけたくない! ということで、ヒッチハイクで行く東京旅行を計画。行きは順調。帰りは京都まで夜行バス、そこからヒッチハイクで西条に戻ることにしました。新婚ホヤホヤのカップルの車を皮切りに3台ほど乗り継いだものの、大阪に着く頃には朝からの雨が激しさを増し、寒さと疲労感でぐったり。その時に止まってくれたのが、若い夫婦と2人の幼い子どもの乗る1台の車でした。子どもたちは、突然同乗してきた外国人に驚いたのか、最初は恥ずかしがっていましたが、次第に打ち解けていき、最後には大笑いしながら一緒に遊ぶほど



ボクたちを大都会に連れてって〜♥



に。車内はいわば家庭の延長。いろいろな家族のプライベートな時間に邪魔できるのもヒッチハイクの醍醐味です。一家は福山の家に帰る予定でしたが、わざわざ西条の学生寮まで送ってくれました。本当に親切な彼らに出会えて、私たちはとても幸運でした。

1台目は2日前に結婚したばかりというカップルの車

ヒッチハイクには危険が付きものだよ気を付けてね

緒方香織 他5名 教育学部4年

旅行した場所 / 韓国ソウル

期 間 / 2004年2月17日～19日

春休みに外国へ行こうと韓国ソウルへの旅行を計画した私たち。2泊3日で3万円の手軽なツアー。焼き肉、買い物、観光、エステとしっかり韓国を満喫した最終日の朝に事件は起こりました。チェックアウトの時間でもないのに「早く荷物をまとめてほしい」とフロントから電話が。ロビーで目にしたのは、一触即発状態の黒いスーツの集団 (後の説明では、ホテル同士の抗争とのこと)。私たちはすぐさま2階へ避難させられました。おびえる従業員や夫に電話するガイドさん、ホテルを取り囲む警察など、周囲には異常な雰囲気がかかっています。しかしあまりにも現実離れしすぎていて「怖い」と思う暇もなかったというのが実際のところ。その後、観光客は裏口から連れ出され、無事に日本に帰り着くことができました。危険な目に遭わないよう十分気を付けていても旅行にはハプニングがつきもの。この旅でそれを実感しました。



ブルコギに串に串いっぱいの顔。韓国のお店ではサンチュとキムチが食べ放題で、何度もおかわりしました



河本大地 大学院文学研究科博士課程後期2年

旅行した場所 / マケドニアなど

期 間 / 2003年8月12日～9月2日

マケドニアは、旧ユーゴスラヴィアの南端、ギリシャの北側にある国。私はそこで、研究対象である有機農業について学ぶワークキャンプに参加しました。その最終日、日本人の珍客を取材しようと突然テレビ局の人たちが。英語でのインタビュー (マケドニア語の字幕つき) で15分間の出演とのこと。日本人が持つマケドニアのイメージ、マケドニア人に対するメッセージなどを求められました。その時私の前には折り鶴がずらり。成り行き上、両国の友好とマケドニアにおける平和を願う旨を話しました。「さすが日本人。君は最高の外交官だ」というのがテレビ局の方のコメント。しかし、自他共に認める変人の私がここでは「標準的日本人」となっている事実と複雑な気持ちを抱きました。また、翌日には町で呼び止められ「日本人、カラテ教えて。あちよー、あちよー、レスリー・チャン!」と頼まれました。互いの地域のことを理解しあうには、旅をして、現地の方々との時間を大切にするのが一番! かけがえのない経験になりますよ。



あちよー
あちよー
レスリー・チャンは香港の映画スターよ。まぢがえなさいやね



有機栽培を行う農家の方と。筆者右から2人目



首都スコピエのアルバニア人居住地区にて



ワークキャンプの際、みんなで折り鶴を作りました。ヒロシマについて語り合いながら、皆さん上手に折ってくれました



マケドニアで出会った日本人は2人だけ。この画家の方の絵からは、人物や景観の雰囲気がいっぱい伝わってきます

初めての海外旅行がインド一人旅 編

木村博子 医学部4年

旅行した場所 / インド北部

期 間 / 2004年3月9日～4月9日 (1カ月間)

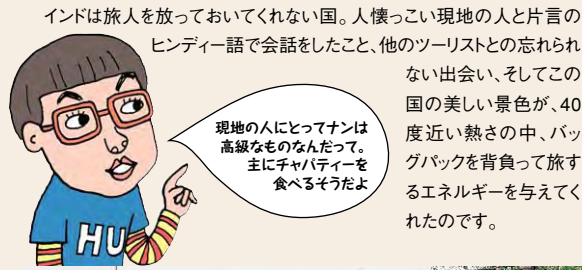
小さい頃からなぜかインドに行く予感がしていた私。自分の中では、初めての海外旅行はこの国だと決まっていた。ほとんど計画を立てずに、往復航空券だけを手配し、自分の直感を頼りに行動した今回の旅。デリーからバラナシに向かう寝台列車の中、赤ちゃんの世話を私に託して仲良くくっついて寝ていた夫婦。バラナシで泊まった宿の屋上から見たガンガに昇る朝日と沐浴をする人々。パキスタンとの国境近くを列車で移動していた時に見た、砂漠に月がぽっかりと浮かぶ幻想的な景色…。私が一人旅が大好きな理由は、明日が予想できないこと。そして、人々とのすてきな出会い。ハプニングに遭遇した時の自分の勘を研ぎ澄ます感覚も刺激的です。



しばらく時間のたったガンガの川沿い。町全体がピンク色に染まってく様子。沐浴する人、元気に遊ぶ子どもたち、物売り…。インドでは、いろいろな人がそれぞれの生き方を受け入れ、ありのまま生きていると感じました。



ガンガに昇る朝日。この美しい景色を見るために自然と目が覚めていた私。町中に響きわたるヒンディーの祈りの声と鐘の音を聞きながら、毎朝川沿いを散歩していました。



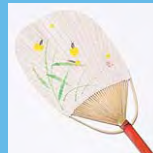
現地の人にとってナンは高級なものなんだって。主にチャパティーを食べるそうだよ



どこかしこでも人であふれるインドの町。旅の一番の楽しみは現地の人と話をすること。片言でも現地語で話しかけると会話が弾みます。現地で覚えたヒンディー語の数字を使って市場で買い物をすると時間がたつのを忘れず

学生取材班が行く

プチトリビアや時事問題、ちょっと気になる先生まで、
あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。



おすましランチ — 優雅な昼下がり —

サタケメモリアルホール隣の、学生会館の1階にガラス張りの空間があるのをご存じですか？ そこにはなんと、リーガロイヤルホテル広島直営のレストラン『La Bohème』（ラ・ボエム）が。大学内で本格的なフレンチが楽しめるって聞いて、さっそく取材に行ってきました。

最初の印象は、まさに高級レストラン！ 破れたジーパンをはいていた私は、ちょっぴり不安になりましたが、スタッフの方々がやさしく迎え入れてくれてホッとしました。



取材日のメイン・ディッシュは「若鶏のポトフ ラヴィゴットソース」。“ラヴィゴット”とは“元気づける”という意味があるそうで、私たちのおなかもしっかり元気になりました

もちもちのパンは、5種類から選べます。▶
しかもおかわり自由!!

私たち取材班は、日替わりメニューのリーガランチ（1,050円）をいただくことに。サラダから始まり、スープやメイン・ディッシュ、コーヒー



◀謎の白い粒…。
これは何でしょう？
食後にどうぞ。

とボリューム満点。おなかいっぱいになりました。ラヴィゴットソースも思ったよりあっさりしていておいしかったです。

流れてくるすてきな音楽や窓から差し込む明るい光。初めは緊張していましたが、心地よい雰囲気の中で楽しいランチタイムを過ごせ



おしゃべりも弾み、つつい長居

ました。最近は学外からのお客様も増えているとか。デザート・ドリンクのみでもOKなので、皆さんも普段とは一味違う優雅な時間を楽しんでみてはいかがでしょうか？

営業時間

(昼) 11:00～16:00 (ランチは11:30～14:00)

(夜) 予約により随時

※土、日、祝祭日は定休日。ランチも予約をしたほうがよいそうです。

お問い合わせ先 ☎082-493-8112

取材・記事 / 総合科学部3年 内田 奈美

夏の風物詩 — 夜光虫 —

いよいよ夏本番！ 暑さにげんなり、夏バテ気味の人もいるのではないのでしょうか。今回はそんな人にオススメ、夜光虫が見える竹原市の的場海水浴場を紹介します。

東広島キャンパスから車で約40分。国道2号線を福山方面に進み、国道432号線へ右折。竹原市街地で海沿いを走る国道185号線に入り三原方面へ。セブンイレブンを少し過ぎたところで右折すると到着です。

車から飛び出し、走って砂浜に向かったものの暗い海の中には何も見えません…。不安を覚えながら防波堤に移動して真下の海を凝視すると、一瞬レモン色の光が点滅するのが見えました。光はすぐに消え、またすぐ近くで光っては消え…どうやらこれが夜光虫のようです。小さく、大きく、強く、弱く、場所を変えて光るので、波間を漂いながら飛んでいるように見えました。まるで蛍！ しばらくの間食い入るように海を見つめていました。



夜光虫イラスト
残念ながら写真に
おさめることができませんでした。

この夜光虫、実は原生生物の一種で体長は1ミリにも満たない大きさ。体に刺激を受けて光るので、波打ち際や防波堤の辺りでよく見えます。海に小石を投げ込むとそれに反応して、辺り一面がキラキラと輝くこともあるとか。5月末から夏の終わりまでがシーズンですが、毎日必ず見られるわけではありません。実際、私たちも1回目の取材時には発見できず。天気が良くて気温が高く、月明かりの少ない日が狙い目とか。ちなみに隣には広大の実験所があり、生物生産学部の学生はここで実習を受けているそうです。生物生産学部の友達がいたら、いろいろ聞いてみると良いかもしれませんね！

聞こえるのは波の音だけ、そして目の前の幻想的な光景…。ロマンチックなシチュエーションに、友人とも普段とは違う会話が楽しめるかも。夏の夜のドライブコースに取り入れてみてはいかがでしょうか。



取材・記事 / 総合科学部3年 藤田 恭子
イラスト / 法学部3年 河野 真帆

Knock on the door

■ 人のための建築を、人間のための街づくりをしていきたい

■ 大学院工学研究科 岡河研究室訪問

建築＝総合学問

「持っている資格は一級建築士などすべて建築関係。実は、自動車免許さえありません」という岡河先生。お酒を飲むのも、街に出るのも全部建築のため…完全な建築人間だとか。



「ロンドンの卵」的発想で学生と一緒に未知の住まいについて考えています。

一人暮らし用の住宅模型。駐車場の台分のスペースに4〜5階建てのビルを



原っぱの中に住んでいるような不思議な家。部屋の形もまるで花のよう

文学は文字を、絵画は形と色彩を使うように、建築は空間を使って場所の意味を上げます。「生きている人間を、その空間の中でどのように意味のある状態にできるかというのが建築の仕事。人に関わるあらゆることが、空間を考えたり作ったりする時に役立ちます。建築と



学生が研究する部屋。ベニヤ板を組み合わせて作ったという机は「彼らが空間を考えるきっかけになれば」との考えから

は総合学問なのです」

建築には人間の現実の空間を変える力がある!という考えから、研究室の学生にも、実際に社会や人間の生活を変えていくような具体的な提案を求めているそうです。



岡河 貢

大学院工学研究科
建築計画学講座 助教授

1953年生まれ。
86年東京工業大学大学院工学研究科博士後期課程単位修得退学。98年広島大学工学部助教授に就任。01年から現職。
専門分野は建築設計学。著書に『東京計画2001』（共著）他。作品に「向島洋らんセンター」（尾道市）他。

ではいつも誰かが語らい、キャッチボールをし、みんなの集いの場となっています。機能的な工学部の建物に人と人とを結び付ける空間を設けることで、“機能を越えた機能性”を持つようになる—実例を見ると、建築のトータルバランスの大切さを実感できました。



ガレリア

また、先生は故郷の尾道や西条の街づくりにも関わっています。「昔の街は人間のスケールでできていましたが、近代化に伴い今の街は自動車のスケールに作り替えられています。目的の場所を車で移動するだけの現代の街並み…。しかし人にはそれ以外の要素、例

えば、ただ佇んでいられる場所やそこでの出会いが必要だと考えています」先生のテーマは、そういった近代の問題点を乗り越えた“人間のための街づくり”です。



大学は知の都市になるべき

「今の東広島キャンパスは、非常に機能的にできています。研究をする場所としての研究室と講義をする場所としての講義室、そして、それらをつなぐ廊下。しかし、そういった機能以外に人と人が交流できるような場所が少ない。カフェ、映画館、博物館、インフォメーションセンターなど全体を結び付ける交流のための空間を作らなくては。大学は緑の中の“知の都市”になるべき。そして教職員も学生もその市民になる…」岡河先生は東広島キャンパスに関して明確なビジョンを持っています。実は、工学部にあるガレリアは先生が提案されたもの。そこ

世界に通用する人になれ

「学生は可能性にあふれている。大学はそれを引き出す場所であってなければならない」という先生。私たち学生に対しては「自分はこの程度」と最初から限界を作らず、挑戦的になってほしい。そして将来は世界に通用する人になってほしいですね。地域に根付きながら同時に世界に通じるような仕事ができる人。世の中は常に変化するもの。ずっと今の形のままでありません。自分たちが積極的に関わって未来の世の中を作っていく!という気持ちを持ってほしい」とメッセージをいただきました。

取材・記事 / 法学部4年 坂根 広晴



小西由香里 Yukari Konishi

株式会社ダイヤモンド・ビッグ社 『地球の歩き方』編集部
(2001年3月文学部卒業)

自分の作った本を読んでくれる人がある。
それが私のエネルギー源です。

—今の職業を選んだきっかけは？

大学ではドイツ語を専攻し、3年生で初めてドイツを旅行しました。その時に『地球の歩き方』を持って行ったんです。もともと何か形に残る仕事をしたいと考えていましたし、大好きな旅行という分野でこんな本を作れたらいいと思ったのが入社の一きっかけです。

—どんな仕事を担当していますか？

プロデューサーとしてドイツをはじめ中央ヨーロッパ地域のガイドブック制作を担当。1冊の本を作るためには様々な人が関わっているので、そのメンバーをまとめ、作業の進行管理をするのが主な仕事です。例えば、海外取材の手配をしたり、上がってきた文章をチェック・指示したり。

読者にその地域の魅力をどれだけリアルに伝えることが

できるかをテーマに、常に旅行者の視線を忘れないよう心がけながら編集を行っています。海外旅行のガイドブックを作る仕事は一見楽しそうに見えますが、実はデスクワーク中心の地味な仕事です。でも、自分の担当した本が本屋に並んでいるのを見るとやり甲斐を感じますね。



—学生時代にやっておいて良かったこと、
逆にやり残したと思うことは？

実際に役に立っているのは英語かな。TOEICや英語検定試験には必ず申し込んで、勉強せざるを得ない環境を作っていましたね。学生時代にやっておけば良かったと思うのは、新聞を毎日読む習慣を身につけておくこと。海外出張の際には、現地の人たちと日本の経済や社会の話をする機会も多いのですが、外国人のほうが日本のことを詳しく知っていたりして慌ててしまうこともしばしば。新聞を読んでいるかいないかで、会話の幅が本当に違ってくるんです。いくら語学力があっても、肝心の話題がついてこなければ意味がないですからね。

—後輩たちへメッセージをお願いします。

自分の意志でやり遂げた!と自信を持って言えることを一つでもいいので見つけてください。サークル・語学・旅行、何だっていいと思います。その自信がきっと、今後のステップアップにつながるはず。それから、とにかくいろいろな人と会って話をすること。特に目上の人との会話を通して学べることは多いと思います。西条はとて面白いところでも大好きな場所ですが、たまには一歩外に踏み出してみるのも面白いですよ。



社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身に付けておくべきことはまたプライベートの話まで、私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

羅針盤 OB & OG 紹介



山下祥弘 Yoshihiro Yamashita

三菱重工業株式会社広島製作所 資材部機械調達・物流グループ
(1999年3月法学部卒業)

社会の常識を身に付けるために、勉強だけではなく、様々な経験をしてほしい。

—現在担当している仕事は？

また、今までの仕事で印象に残っていることは？

現在は港湾にあるクレーンなどの物流機器に使う部品の調達を担当しています。1,000円程度のものから数億円



単位のものまで、とにかく幅広い物品を扱っています。

やはり苦労した時のことは印象に残っていますね。調達の仕事でいうと、発注した後にお客様から別のメーカーに変えてほしいと言われたことかな。既に発注した会社には怒られるし、新たに

発注するメーカーは納期が間に合わない上に値段も高い。どうしようかと思いましたね。あとは、製鉄機械のプラント輸出の営業をしていた時のこと。当時担当していたプロジェクトの関係で海外のお客様のところに20回ほど出張したのですが、打ち合わせをしているとそのお客様がだんだん熱くなってしまい、ファイルを投げつけられたり…なんて経験も。国民性の違いを改めて感じました。

—どんな広大生でしたか？

中学生の頃から海外で働くことが夢だったので、大学時代は海外旅行へ行くお金をためるためにバイトばかりしていました。3年時と卒業前に2度、ヨーロッパを訪問しました。

海外で仕事をしたいと思っていたわりには、あまり英語の勉強はしませんでしたね。私の場合、就職後に必要に駆られて自然と英語力が身に付いたという感じ。営業時代は頻繁に海外出張がありましたし、現在の部署でも半年に1回のペースで外国へ行く機会があります。英語が使えないと仕事にならない、そういう危機意識が常にあったから。でも、大学生のうちにしっかり英語を学んでおけば良かったと痛感しています。

—最近の大学生についてどう思いますか？

社会人になって学生と一番違うと感じたのが大人としての「責任」の重さです。例え入社2〜3年の若手社員でも、自分に任された仕事に対しては責任を持たなければなりません。最近、採用活動で大学生と接する機会がありますが、自分のことしか考えていない子どもっぽい学生が多いように感じます。時間にゆとりがある学生時代。もちろん勉強も大事ですが、アルバイトやいろいろな人との出会いを通して、社会の常識というものを自分の肌で感じ、学んでいくことが重要だと思います。



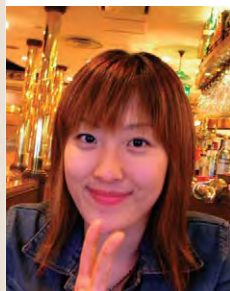
取材を終えて



学生たちの憧れの就職先である出版社へ勤務されている小西さん。しかし現実は華やかな仕事ばかりではないようです。それでも私には、本当にやりたいこと、好きなことを職業にしている先輩の姿はとても輝いて見えました。休みの日も趣味や勉強に明け暮れ、のんびり過ごす時間はほとんどないとか。次々と飛び出す刺激的なお話について取材を忘れて聞き入ってしまいました。普段大学に通っているだけでは分からなかった「社会」に触れることができ、本当に勉強になりました。取材・記事 / 法学部3年 新本 恭子



印象的だったのは山下さんの魅力的な人柄とそのポジティブな考え方。少し緊張気味の私に対して、やさしく落ち着いた態度で接して下さる姿に「大人のゆとり」を感じました。これまで仕事上の失敗も数多くあったそうですが、それを乗り越えるために「やるだけやれば結果は後でついてくる」と、常に前向きな姿勢で仕事に取り組んでいらっしゃるようです。すてきな社会人の先輩と直接お話ができた今回の取材。貴重な体験になりました。取材・記事 / 経済学部4年 梅田 佳宏



自国の文化をしっかりと学び、留学すべし

睦 恵 利 Hyeri Mok
日本語・日本文化研修生（韓国出身）

大学2年生の時、日韓交流プログラム※に参加し、初めて日本を訪れました。それがきっかけで、日本についてもっと知りたい、日本語が上手く話せるようになりたい、どうしても一度は日本で生活してみたいと思うようになり、留学を決めました。しかし、実際に広大での学生生活をスタートさせ、生活の場として見た日本は、旅行で来た時の印象とは全く違うと感じました。これは日本の印象が悪くなったという意味ではありません。韓国と変わらないということに気が付いたのです。表面だけを見ていた自分を反省しつつ、内側を見ることができるようになった今の自分は、以前よりも少し成長したのではないかと感じています。

ここで最近気になることを一つ。特に意味もなく「なんか」という言葉を使い過ぎていませんか。きっかけは、留学生同士で話をしていた時のこと。会話の相手が「なんか」という言葉をあまり適切でない箇所で

何度も使っているのを聞いて「えっ?」と感じ、自分の日本語を振り返ってみたのです。すると、私自身も無意識のうちに何度も「なんか」と言っていることが分かりビックリ。なぜ口癖になってしまったのだろうと考えてみると、日本人のまねをしているからだと気が付きました。日本語を習



日本語・日本文化研修生の友達と。四国の道後温泉に旅行に行ったとき

いに来ている留学生は、当然、日本人の話し方、振る舞い方などを知らず知らずのうちに学んでいきます。日本人であれば、その場の状況によって的確に使い分けることができるのですが、留学生にとって、一度身についた癖を直すのはとても難しいことです。皆さんも自分の言葉遣い、振る舞いをもう一度チェックしてみませんか。広大生はみんな、留学生にとって立派な先生なのですから。

この留学を通して様々な人と出会うことができ、多くの貴重な経験ができました。そして、日本について語る前に、自分の国や文化についてもっと学んでおくべきだったということにも気が付きました。1年間生活しただけで「日本はこうだ!」と言い切ることはできませんが、はっきりと言えるのは、文化の違いや言葉の違いはあるけれど人間はみんな同じだということです。将来はこの留学経験を活かして、日韓交流関係の仕事に就きたいと思っています。また、これから留学する後輩たちに自



日本人の友達と百済文化祭のバレーに参加



百済時代、王様のお世話係の乙女はこんな姿でした。(前列左から2・3人目)

分が学んだことを伝え、より一層有意義な学生生活を送ってもらいたいと考えています。

最後にこの紙面を借りて、いつも私を支えてくれている日本語・日本文化研修生の友達と、サークルの“JINGAI”のみんなへ「ありがとう」の一言を送りたいと思います。

原文 / 日本語

※山口大学の学生25人と韓国・慶南の5つの大学から集まった25人が、夏は山口で10日間、秋は韓国・釜山近郊で1週間交流し、お互いを理解しあうというプログラム。



韓国料理は「辛さ」が魅力!一度味わってしまうと止められない?!



韓国で開催されたAsia Collegeでソウルのギョンボクンへ。宮殿を守る人?と一緒に撮影

プロフィール

韓国の昌原出身。昌原大学日語日文学科4年生。2004年10月、国費留学生として広島大学へ。留学生センターの日本語・日本文化研修生として、生きた日本語に触れること、日本文化を学ぶことに力を入れている。研究テーマは日韓のオノマトペ（擬音語・擬態語）。05年9月まで滞在予定。

【本人のHP】 <http://www.cyworld.com/JHloveHR>（韓国語）

体感地球

わたしの世界見聞録



知識だけではなく、自分なりの意見を持つておくこと

青木 一兼 Kazumoto Aoki
総合科学部4年

大学1年時に中国、2年時にアメリカへそれぞれ1カ月間短期留学をしました。しかし、ただか1カ月では語学的にも物足りないし、本当の意味での友人を作ることは困難です。本音で語り合える友人が欲しい。それがこの1年間の留学を決心させる一番の動機となりました。

寮は、留学生がほとんどいないところを選びました。当初は食生活の違いやなまりのある英語、時間のルーズさなど、予想とのギャップに驚き、不満を抱きましたが、周りの人々と仲良くなりたいという一心で、彼らが食べるものを食べ、彼らの話す英語や振る舞いをまねて、とにかく周囲に溶け込む努力をしました。その結果、寮でただ一人のアジア人で、かつ語学力というハンデがあったにも関わらず、数多くの友達に恵まれました。

中でも一番仲が良かったのが、インド生まれで幼少時に養子として

オーストラリア人になったという経歴を持つ友達。「日本人やオーストラリア人の場合、チャンスは平等にあって本人の努力次第でいくらでも人生を切り開ける。しかし、かつての自分のように、貧困や生活環境によって生まれた時点で努力する機会さえ得られないまま人生が決まってしまう人たちが世の中には大勢いる。私は本当に運がよく、今の



私が学んだ化学科の建物。基本的に午前中は毎日講義、午後は週3〜4回実験。課題やレポートも定期的にあり、忙しい日々でした

暮らしに日々感謝をしなければならない」という彼の言葉にはとても重みがありました。私自身も、日本人として毎日何不自由のない環境にすることに感謝をしなければならない、そして、途上国からの輸入によって成り立っている日本に生まれ育った者の責任として、将来は仕事を通して彼らの生活環境が少しでも改善されるように何かしなければと強く感じました。



長期休暇中はおっぱう一人旅。手付かずの自然を満喫しました。圧倒されるような景観を目の当たりにし、自分の小ささを痛感することが多々ありました



寮の友達と。近くの国立公園でキャンプやバーベキューをしたり、週末には飲みに行ったり。楽しい思い出です

この留学で痛感したのは、物事に対して自分なりの意見を持つておくべきだということ。知識はあってもそれに対して意見を述べるのができずに、友達の話聞きっぱなしになってしまうことが幾度もありました。自らの意見を持つ。これは、自分自身や日本のことをより深く知ってもらうために非常に重要であると思いました。また、自分が一番大きく変わったと感じるのが、文化や価値観の違いを受け入れ、尊重できるようになったこと。自分とは違うからといって拒否するのではなく、それを理解しようとする姿勢を示せたからこそ、本当の友人を作ることができたのだと思います。

1年間の海外生活は、私の将来のビジョンを大きく変えましたし、違う環境でやり抜いたという経験は大きな自信にもなりました。留学するためには英語の勉強など多少面倒なこともあります、その先に得られるものの大きさは計り知れません。大学時代に何か大きなものを残したいと考えている人には、ぜひ積極的に行動してほしいですね。

プロフィール

広島大学短期交換留学プログラム（HUSA）で2004年2月〜12月の間オーストラリア・ニューイングランド大学に留学。

【使用言語】英語

【1ヶ月当たりの生活費】7〜8万円

学生取材班が行く 特別編

映画『ちゃんこ』の世界に一日入門?!
撮影スタッフ体験の予定が、ちょっぴり出演!?



広島大学相撲部をモデルにした映画『ちゃんこ』。

5月中旬から6月中旬まで、東広島キャンパス内でロケが行われました。エキストラなどで参加した人も多いのでは?
今回編集部では、映画関係者の方に特別にお願いし、撮影現場のスタッフを一日体験させていただきました。

取材班が見た撮影現場の1日

初めての体験を前に緊張でほんとと眠れないまま朝を迎えた私。こんな調子で果たして今日1日乗り切ることができるのか…そんな不安を抱きつつ大学へ。



朝8時、撮影現場の土俵に到着。周辺は撮影用のセット、カメラや照



明、その他何に使うのか分からないたくさんの機材が所狭しと並び、いつもの大学とは違う雰囲気。徐々にエキストラの方も集まり始め、現場に独特の緊張感が流れる中、スタッフの方々は自分の担当する仕事を手際よく黙々とこなしている。俳優さんが来られると一気に場の空気が引き締まり、いよいよ撮影スタート。



監督のOKが出るまで何度も何度も撮り直し、車や飛行機の音、光の加減など、細部にまで徹底的にこだわるハードな撮影。しかもワンカットは1〜2分。それをひた



すら積み重ねていく根気のいる作業だ。季節の設定は秋。長袖を着ている俳優さんやエキストラの方は、5月下旬とは思えない強い日差しのためにとても暑そう…。撮影の合間にパラソルで日陰を作ったり、お茶を運んだり、撮影がスムーズに進むよう気を配ることもスタッフの大切な仕事。



この日は夜の場面の撮影がなかったため、日没の6時頃終了。でも、スタッフの仕事は一向に終わる気配なし。機材の片付け、俳優さんやエキストラの方のお弁当の手配、ゴミの仕分けから、荷物の整理や運搬…。雑然としていた現場は、あっという間に元の姿に戻っていく。夜のシーンを撮る時は、明け方まで撮影が続くこともあるとか。夜10時、すべての作業が終了。皆さん、本当にお疲れさまでした。



エキストラとして出演

撮影の現場スタッフとして密着の予定が、突然エキストラとして出演することに。与えられた役は、なぜか「相撲協会の役員」。じょうろで土俵全体に水をまき、ほうきで蛇の目(土俵の外側)の砂を掃きならすとい



う役。心の準備をする間もなく撮影開始。広島県相撲連盟の方や元力士の方にやり方を指導していただいたものの、自分自身がすごく不自然な動きをしているのが分かる。「スタート」の声とともに緊張、「カット」で弛緩、延々とこの繰り返し。正直、本当に大変だった。



私が出演したのは映画のごく一部で、脇役の中の脇役にすぎないが、それでも終わった後には何ともいえない充実感があった。

取材を終えて

私の面倒を見てくださったのは制作担当のダイスケさん。緊張しつつ挨拶をすませたものの、それっきり何の指示ももらえず、何をしたらよいのか分からない…。他のスタッフの方々が忙しそうに働いている姿を見て我慢できなくなった私は「何をすればよいでしょうか」と思わず尋ねてしまいました。すると「いちいち指示を仰いでいてはダメ。自分で仕事を見つけて下さい」との返事。しばらくの間は皆さんの作業を眺めるだけという状態に…。



働く厳しさを教えてくれたダイスケさん

そのうち見かねたスタッフの方から少しずつ仕事の声がかかるようになりました。内容は、お茶出しやパラソルを使っでの日陰作り、片付けなど、簡単なことばかりなのですが、普段ほとんど日中に活動することのない私は、強い日差しにやられてへたり込んでしまうという不甲斐ない結果に…。(すみません)。てきぱちと動き回るスタッフの方々は本当にすごい!

撮影終了後はひたすら後片付けを手伝い、最後の荷物を車に運び込んでからやっと夕食。この日のお弁当はいつもの何倍もおいしく感じました。

あっという間に過ぎていった1日。一つの映画を作る大変さを少しだけ感じる事ができたと思います。

振り返ってみると、何をすればよいのかとあたふたするばかりで、ちっとも役に立たない自分に、“あきらめ半分くやし半分”という心境。自分からもっと積極的に動けばよかったという後悔もあります。そして、一番印象に残っているのは「自分で仕事を見つけて下さい」という言葉。この言葉の意味をしっかり受け止め、今日の貴重な体験をこれから自分の進む道で活かしていきたいと思いました。



撮影スタッフの仕事は夜遅くまで続きます



仕事を終了後の食事は格別

取材・記事 / 工学部4年 宮田 浩紀

『ちゃんこ』は今秋広島県内で先行上映が行われ、その後順次全国公開される予定です。(配給：ティ・ジョイ)

人力飛行機製作チーム

HUES

広大のみなさん、はじめまして。人力飛行機製作チームHUES(ヒューズ※)です。

僕たちのチームは、その名のとおり人力飛行機を製作し、毎年夏に琵琶湖で行われる「鳥人間コンテスト選手権大会」に出場して飛行することを目標に活動しています。他に例がなく技術的にも難しい双発の飛行機により、人カプロペラ機部門で2002年大会から3回連続出場を果たしています。その模様をTVでご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

製作技術も成績も年々飛躍的に向上してきて



パイロットを乗せて機体離陸時の押し出し練習。東体育館にて



試験飛行を目前にして、工学部駐車で総組み立ての練習

工学部をはじめ、理学部、総合科学部、医学部などからも参加があり、総合大学ならではの特色あるメンバー構成となっています。大会直前には、活動がしばしば深夜まで及ぶため、体力的・精神的につらいこともあります。自分たちの手で飛行機を飛ばす喜びや「ものづくり」の楽しさなど得られるものは数多く、密度の濃い日々を送っています。



笠岡農道空港にて試験飛行。深夜に機体を組み立て中

今年の大会は7月16・17日。現在急ピッチで製作を進めており、この広報誌が発行される頃にはおそらく完成しているはず。OB・OGの方々の夢を引き継ぎ、先生、そして何より学生の皆さんの期待に支えられて、今年も琵琶湖を目指します。

(記事/HUES・工学部3年 筧 淳平)

“HUES” HP

<http://xes3.mec.hiroshima-u.ac.jp/hues/index.html>

※1994年前身の人力ポート時代にEngineering Systems, Hiroshima Universityをもじって付けた名。英語で「色彩」の意。

発見! 元気人

ガンバル広大生の
PRページ。
みんなも応援しよう!

アメリカンフットボール部

Raccoons

みなさんは「アメフト」から何を連想しますか? 「体の大きい人がするスポーツ」「ちょっとコワイ」「上下関係が厳しそう」などと思うかもしれません。でもRaccoons(ラクーンズ※)は、そんなイメージとは全く違うチームです。

メンバーの多くは、もともとアメフトなんて全然知らない普通の学生でした。運動神経が特別良かったわけでもありません。そんな学生たちが、合理的なトレーニングによって次第にアメフト選手らしい体つきになり、運動能力も向上させていきます。また、1年生が少しでも練習に集中できるように、

雑用はすべて上級生がこなしています。こうした伝統的な体育会とは異なるやり方により、ほとんどが未経験者であるにも関わらず、今では中四国・九州地域の強豪校と認めら



6月5日に行われた愛媛大学戦。27-6で勝利

れる実績を残すまでになりました。現在の目標は、中四国リーグ優勝にとどまらず、人気・実力ともに国内最高レベルの関西学生1部リーグに挑戦し、勝利すること。目標に向かって日々練習に励んでいます。



試合中にハドル(円陣)を組んで作戦タイム。アメフトは、フィジカル面も重要ですが、それ以上に戦術がものをいうスポーツなのです(左がラクーンズ)

また、グラウンド以外の活動として、地域との交流も積極的に行っています。今年は後援会もできた「Raccoons」。今やその名前は、単に広大のクラブ名としてだけでなく、地域にも広がっているとしています。

私たちが日頃大切にしているのは「アメフトがうまいだけの人」にならないこと。ここでは、アメフトを通じて様々な人に支えられ、自分が成長していくという素晴らしい経験や感動を得ることができます。「Raccoons」に少しでも興味を持ったみなさん、ぜひグラウンドや試合会場に足を運んでみてくださいね。



みこしの担ぎ手として、毎年西条の祇園祭に参加

(記事/Raccoons・教育学部3年 中井 俊之)

“Raccoons” HP

<http://www.geocities.co.jp/Athlete-Acropolis/8310/index.htm>

※「ラクーン」は英語でアライグマの意味。アライグマは見た目はとてもかわいいけれど、実は肉食で獰猛な動物です。創部当時、体の小さい選手が多かったため、強くなれるようにとの願いを込めてこのチーム名になりました。

Hi! Hirodai Information

学内の重要なお知らせから、耳寄りなニュースまで。広大生必読のインフォメーションです。

牟田学長2期目 新たな大学運営体制がスタート!

5月21日、牟田学長は新たな大学運営体制をスタートさせました。理事・副学長体制も担当業務などを見直し、「教育・研究」、「学術政策」、「社会連携・研究」担当の理事・副学長を設置、「学生」、「国際」担当の副学長を創設しました。2期目を迎えた牟田学長、新たに就任した谷口理事・副学長（教育・研究担当）及び森川副学長（学生担当）に、重点的に取り組みたいことや学生とのエピソードなどをお聞きました。



牟田泰三 学長

自己紹介

【性格】「二面性」があるところ。細心なようで大胆、優しいようで厳しい、几帳面なようで大ざっぱ、理想に燃えているかと思うと現実的…。

【自分を動物に例えると?】牛。丑年なので。

【趣味】スキー、釣り、書道（特に古い書体の漢字が好き）。

【座右の銘】「誠実・公平」。大学運営にあたって誠実を旨とし、公平であるよう心しています。

重点的に取り組みたいこと

広島大学を、到達目標「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」に向けて躍進させます。当面実現させるべき計画は、○大学院総合科学研究科の設置、○学士課程教育の質的改善を目指す到達目標型教育の実施、○魅力ある入学試験システムの検討。また、早急に、大学構成員との意思疎通を図る方策を検討します。その一つとして「学長オフィスアワー」を設けました（16ページ参照）。学生の皆さんも歓迎します。

学生と私

【最近の広大生の印象】真面目でおとなしく、礼儀正しい。これに、「挑戦する、行動する」ことを心がけてほしいと思います。

【学生との思い出やエピソード】私の研究室にいた大学院生や卒業生たちをお世話して、15組のカップルを誕生させました。これらの皆さんで「幾久し会」という集まりを持っています。

【メッセージ】挑戦しよう、行動しよう、広大生！ 映画『ちゃんこ』も見てください。

こだわりのもの

あまり持ち物にはこだわりませんが、強いて言えば多機能ペンです。（黒・赤ボールペン、シャープペンシルが一つになったもの）

おすすめの本

『君主論』
マキアヴェリ 著 池田廉 訳 中央公論新社／2001年

政敵を倒す策略ばかり書かれているかのような悪いイメージが定着しているようですが、まず原典を読んで、自分で考えてみてください。マキアヴェリの思想と歴史的背景まで調べてみる気になったら、学長オフィスアワーで議論しましょう。



谷口雅樹 理事・副学長（教育・研究担当）

自己紹介

【性格】後ろを振り返らない。可能性が広がるような考え方を好む。

【自分を動物に例えると?】あれこれ考えましたが、適当な例が思いつきません。

【趣味】中学の時からトランペットを吹いていました。いろんな楽器を演奏して音楽を楽しみたいです。

【座右の銘】日常生活では「思いやりと感謝」。仕事では「苦しいときこそ楽しげに」。

重点的に取り組みたいこと

「教育の広島大学」というブランドを鮮明に打ち出していきたいと思います。来年度から、魅力的で将来の可能性が広がる「到達目標型教育プログラム」をスタートさせること、また、大学院レベルでは、優れた研究と教育の結びつきがより一層際立つような仕組みの整備を進めることを考えています。

学生と私

【最近の広大生の印象】積分値タイプ。瞬時値のように派手さはないが、積み上げていく事に関しては際立った能力を発揮するという、特筆すべき個性を持っています。

【学生との思い出やエピソード】手本のない高度な装置を開発している際、初めてデータが得られたときの学生の輝いた顔。今、高等学校の教師として活躍しています。

【メッセージ】専門性を真に生かすには、人間的な関わり、人の心を察する感性が必要です。将来にわたって、陶冶してってください。

こだわりのもの

ホンダ・アコード。車も名前も気に入っています。助手の頃、「作行会」というところから長年にわたって経済的支援を受けました。後になって、主催者が本田宗一郎社長と分かり、その後ホンダ車を愛用しています。

おすすめの本

『坂の上の雲』
司馬遼太郎 著 文藝春秋／1969-1972年

時代を超えて若者に感動を与える。ものの考え方や生き方について示唆する点が多い。



森川弘道 副学長（学生担当）

自己紹介

【性格】自分では分析不可です。昔、指導教官に「大器晩成せず型」と言われたことがあります。

【自分を動物に例えると?】「へムへム」（アニメ『忍たま乱太郎』に登場する空想上の動物）哲学的なところが似ているから、かな。

【趣味】我が家の3匹のネコとの相互コミュニケーション。

【座右の銘】何事もいい加減にすること。多様性の大切さ、個性の面白さ・意外さ。

重点的に取り組みたいこと

自己のアイデンティティ（得意な科目、向いているもの、いないもの）を見つけている人はその人なりに、まだ見つからない人はその発見を目指して「切磋琢磨」するキャンパスライフの構築。学生生活指導のポイントだからです。

学生と私

【最近の広大生の印象】概して優秀な人材が多いと思う。

【学生との思い出やエピソード】欠席しがちなある4年生に、私生活上の問題や卒論テーマの学問的意義などを一生懸命1時間ぐらい説明していたら、突然「そんなに大事なテーマなら、私のようないい加減な者ではなく、先生ご自身がされたらどうですか」。学生って偉大な教師?

【メッセージ】「人より劣っている」と思う点が自分の個性。個性とはかっこわるいもの（こと）。若さとは劣等感の塊なのだ。

こだわりのもの

- 減ストレス・安眠誘導用器具
- メモリスティック

おすすめの本

『Our Stolen Future』
Theo Colborn, Dianne Dumanoski, and John Peterson Myers
Plume/1997

現代人必読の書。



※写真はご本人からお借りした本を撮影したものです。異なる出版社から出ているものや新しいものなどもあります。

「学長オフィスアワー」が始まりました

牟田学長のオフィスアワーが6月10日から始まりました。このオフィスアワーは、次の要領で行います。詳細は、以下の連絡先にお問い合わせください。

学長オフィスアワー（概要）

【趣 旨】学長と大学構成員の意思疎通を図り、情報共有を促進し、ビジョン共有型運営を行うために実施します。**ビジョン共有型運営のための建設的なご意見等**をお願いします。

【日 時】原則として毎週金曜の午前中（10時～12時半）
一人あたり20分以内

【場 所】学長室（原則として第4金曜日は霞学長室）

【受 付】予約制です。オフィスアワーを行う金曜日の属する週の月曜日から開始し、先着順で受け付けます。
①氏名 ②所属 ③職 ④連絡先 ⑤話の概要（趣旨に添った内容に限ります） ⑥希望の時間を書いて、メールまたは電話で連絡してください。

【連絡先】学長室秘書グループ

電 話：082-424-6006

E-mail：office-hour@office.hiroshima-u.ac.jp

首都圏での就職活動を支援します ー広島大学東京リエゾンオフィスー

広島大学東京リエゾンオフィスは、広島大学が首都圏で活動するための事務所です。学生の皆さんも、就職活動などの際、気軽に利用してください。

■ JR山手線・田町駅の芝浦口（東出口）から徒歩2分

■ 資料閲覧、情報把握、休憩等に利用できます

■ パソコン、プリンタ、コピー機、ファックスなども揃っています

■ 今秋には、他大学との合同就職説明会を予定しています

広島大学東京リエゾンオフィス

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6

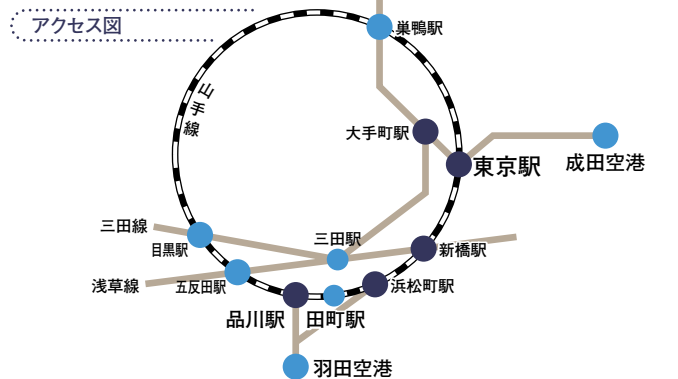
キャンパス・イノベーションセンター507号室

電 話：03-5440-9065 Fax：03-5440-9117

E-mail：liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp

開室時間：月～金 9時～17時45分

HP：<http://www.hiroshima-u.ac.jp/liaison/index-j.html>



第56回中国五大学学生競技大会が開催されます —広島大学が主管校—

中国地方の5つの国立大学から、夏季大会・冬季大会を合わせて約2,000人の学生が集まり、20種目で競い合います。本学の選手総数は約500人。旗手はソフトテニス部の塩村英則選手が務めます。

大会に先立ち、体育会主催による結団式が6月22日、東広島キャンパス本部棟前で開催され、本学を代表するアスリートたちが勢揃いしました。多くの学生、教職員もかけつけ、会場には熱い期待感が満ち溢れました。



選手代表の古達貴さん
（体育会バレーボール部）の必勝宣言



応援団とチアサークルによるエール

なお、夏季大会の日程等は以下のとおりです。

競技種目	期 間	会 場
水泳(男・女)	6月25日(土)～26日(日)	広島県立総合体育館(プール)
バレーボール(男・女)	7月9日(土)～10日(日)	広島大学西体育館
体操(男・女) 女子はオープン競技※	8月21日(日)	広島県立総合体育館 (アリーナ)
陸上競技(男・女)	9月3日(土)	東広島運動公園陸上競技場
空手道(男・女)	9月3日(土)	広島大学剣道場
庭球(男・女)	9月3日(土)～4日(日)	広島大学第4・第5テニスコート
ソフトテニス(男・女)	9月3日(土)～4日(日)	広島大学西条総合運動場 テニスコート
卓球(男・女)	9月3日(土)～4日(日)	広島大学東体育館
バドミントン(男・女)	9月3日(土)～4日(日)	広島大学西体育館
硬式野球(男)	9月3日(土)～4日(日)	広島大学野球場
準硬式野球(男)	9月3日(土)～4日(日)	東広島市営御建球場
軟式野球(男)	9月3日(土)～4日(日)	広島大学西条総合運動場 野球場
弓道(男・女)	9月3日(土)～4日(日)	広島大学弓道場

※6月25～26日に行われた水泳競技では、男女とも2位と健闘しました。

チアサークル復活

広島大学に、チアサークルが8年ぶりに復活しました。その名も「フェニックス」。6月5日に行われたアメリカンフットボールの試合でデビューし、軽やかな掛け声とともにボンボンを使った応援を披露しました。22日に行われた中国五大学学生競技大会の結団式では、リフトも披露。大会中は、各競技会場では選手を盛り上げます。



アメフトの試合終了後、
応援に来ていた留学生と

広島大学OBがテコンドー世界大会に出場



体育会テコンドー部OBの池本琢己さん(2005年3月理学部卒業)が、7月にオーストラリアで開催される第14回世界テコンドー選手権大会の全日本代表選手に選ばれました。代表入りは、テコンドー部としても、広島県内のテコンドー選手としても初の快挙です。

池本さんは、本学在学中の2005年3月に行われた第16回全日本テコンドー選手権大会で個人組手ライト級に出場し第3位という好成績をおさめ、今回、全日本代表に選ばれました。

世界大会での健闘を祈ります!

熱中症に気を付けよう

熱中症は、野外のほか体育館内での運動中にも発症が報告されています。これから暑い盛りを迎えます。部活・サークルの練習やキャンプ、旅行などで熱中症にならないよう、以下の点に気を付けましょう。

■こまめに水分補給をする。塩分を十分とる。

■涼しい服装をする。帽子をかぶる。

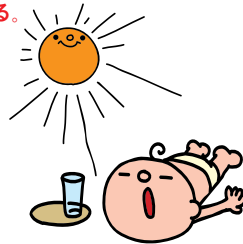
■暑い日は無理な運動をしない。

保健管理センターのHPに詳しい予防

対策が載っていますので、参考にしてくだ

さい。

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/health/neccyuusyou.html>



2005年6月～10月までのスケジュール

6月	6.25～ 9. 4	中国五大学学生競技大会(夏季大会)
7月	7. 4～	後期分授業料等免除申請のしおり配布 学生総合支援センター経済支援グループおよび各学部・研究科の学生支援グループで配布します。
	7. 4～10.14	後期授業料免除申請受付※ 9月1日以降は、学部等を指定して申請受付を行います。詳しくは、「授業料等免除申請のしおり」で確認してください。
	7.31	前期終了
8月	8. 1～ 9.30	夏季休業
	8. 4～5	オープンキャンパス(東広島キャンパス、霞キャンパス)
9月	9.24～10.17	後期履修手続※
	9.29～10.14	日本学生支援機構大学院奨学生(平成18年度予約採用)出願受付※
10月	10. 1	後期開始
	10. 8	交通安全講習会(原則的に10月入学の学生対象)
	10.31	後期授業料振り込み 締め切り

注意 ※印のあるものは、学部・研究科、学年等によって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板等で確認してください。

●寄付金(財団法人 広島大学後援会)

山口大学 三宅 孝(香典返し)

学外の方 福本 正(一般)

COVERな人創刊号



豪快な笑顔を見せてくれた都築さん。夏号ということでスイカやうちわを持って撮影に挑んでもらいました。自然体ながら、圧倒的な存在感を持つ彼は、まさに“夏男”?!

都築 亨さん

- 大学院工学研究科 博士課程前期1年
- 「この夏は、海で友人と B.B.Q!!」

本人コメント

人とわいわい過ごすのが好きです。普段は研究室の埴野先輩たちとサッカーをしたり釣りに行ったりしてます。時にはダンスも。また僕はカメラ小僧で、人や風景などその時々自分に気に入ったものを撮りまくってます。自分が撮られることはあまりなく、モデルは初めて…。今回の雑誌は家宝(?)ものです。

表紙モデル募集

表紙を飾ってくれる学生を募集します。ぜひ出てみたいという方、ちょっと興味があるんだけど…という方は気軽に編集部までご連絡ください。自薦他薦は問いません。

CONTENTS

01 あの人に会いたい

…01 タレント アンガールズ

特集

ENJOY! バケーション! っておき旅行のスズメ

Part1

再発見! 広島の魅力、美力、味力

Part2

広島大生のあんな旅、こんな旅

05 学生取材班が行く

…07 おすましランチ —優雅な昼下がり—

…07 夏の風物詩 —夜光虫—

Knock on the door

大学院工学研究科

岡河研究室訪問

09 羅針盤 OB&OG紹介

…07 小西由香里

…08 山下 祥弘

体感地球

わたしの世界見聞録

陸 恵利

青木 一兼

15 Hi! Hirodai Information

…15 新大学運営体制スタート

…15 牟田 泰三学長

…15 谷口 雅樹理事・副学長

…15 森川 弘道副学長

…15 各種お知らせ

…15 COVERな人

…15 編集部からのお知らせ

編集部からのお知らせ

●HU-style編集基本方針

- 学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしてみようべく、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめ様々な人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。
- 本学に関する情報の伝達と周知

●投稿募集

①掲載された記事へのご意見、ご感想

1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきます。紙上で匿名もOKです。

②情報の提供、『HU-style』への提言

取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。

※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

●学生広報スタッフ募集!

本誌の企画・編集に参加していただける学生を募集しています。希望される方は、まずはEメールでご連絡ください。

●定期購読のお申し込み

学外の方で、定期購読を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

●本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます

●個人情報保護について

投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

●お問い合わせ・お申し込み

広島大学情報化推進部広報グループ『HU-style』編集担当

(連絡先は下記参照)

編集後記 映画のロケ現場、大変な仕事ですね。「つぎ本番」「よぉ～い、スタート」「カット」この繰り返し。監督から「OK」の一言が出るとこちらまでホッとします。最高のシーンを撮る。このこだわりはスタッフの皆さん半端じゃないですね。さすがプロです。ちなみにこだわりの演技を見せていたのは編集部の同僚。撮影現場の取材がいつのまにかエキストラで観客席に! いつもと違う表情が印象的でした! さて、HU-style7月号、ますますこだわって編集しました。みなさん楽しんでください。(なお)

HU-style 2005年7月号 Vol.2 (季刊)

編集・発行 広島大学情報化推進部広報グループ
住 所 〒739-8511 広島市鏡山一丁目3番2号
電 話 082-424-6017
F a x 082-424-6040
E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp
制 作 有限会社トゥービー
印 刷 中本総合印刷株式会社

※次号は10月初旬発行予定です。(4月、7月、10月、1月の年4回発行)



キャンパスを歩く人たちを Sngp Sngp! 《ゆかたまつり編》

